

京都府立宇治支援学校

校長 川高 寿賀子

## 喜びはともにあること

～ よりよく生きる力をはぐくむ ～

桜の花も早や満開を迎え、春爛漫の季節を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なる御理解と御協力、御支援をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



入学式には、90名（小学部 16名、中学部 30名、高等部 44名）の入学生を迎え、児童生徒 277名（小学部 94名、中学部 64名、高等部 119名）でのスタートとなります。本校は平成23年4月に宇治市の市街地に開校して、今年度で9年目となります。これまで以上に、子ども達にとって「行きたい学校」保護者にとって「行かせたい学校」地域にとって「頼りになる学校」を目指し、職員一同力を合わせて教育活動を進めていきたいと思っております。

さて、我が国の教育の基準となる新学習指導要領の全面実施が、次年度から小・中・高等部と順次実施されます。この改訂は、時代の変化に対応しながら、豊かに幸せに生きる力と、心や態度を育成することを目指しています。本校は、開校以来「地域学習」の観点により、参加・協力・貢献等を大切に、校内や地域に出向くあるいは地域の協力を得て行う取組等を行ってきました。子ども達が卒業後に地域社会の中で、自分のできることを力いっぱい発揮して、多くの人とつながり、また、必要な支援を受けながら、豊かに幸せに生活すること、学校や地域で学んだことが、子ども達の生きる力となって、地域に貢献し、その先の人生につながっていくことを目指した取組です。

今年度はさらに、ICT活用による児童生徒の可能性を追求することや、保護者や地域の皆様の声を学校経営に積極的に生かし、地域とともにある学校づくりを推進していくことにも力を入れたいと思っています。なお、4月17日（水）は、学校公開日ですので、子ども達の活動の様子をぜひ直接見ていただければと思います。

保護者の皆様におかれましては、本年度も引き続き、本校教育への御理解と御支援、御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。